

令和五年第六十三 回茅ヶ崎市民文化祭俳句大会第二部表彰者リスト

20	19	18	17	¥	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順位																				
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	入選	茅ヶ崎俳句連盟 会長賞	茅ヶ崎市文化団体 協議会会長賞	三橋松童賞																					
8	8	8	8	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	16	16	16	18	19	総得点																				
6	2	3	5	3	5	3	5	7	1	4	4	2	7	—	9	4	6	—	10	5	6	2	9	5	7	10	2	5	8	11	5	7	9	6	10	14	4	8	11	得点
97	94	31	12	65	1	74	11	68	17	58	7	54	27	—	59	48	24	—	43	136	80	129	107	69	6	22	3	83	64	60	2	51	25	63	5	108	92	66	13	句番
悲喜越えて妻と幾度の月見かな	クラス会喜寿に乾杯銀木屋	無花果や子ども母でもあるやうな	木屋や天にも地にも金の星	母に歩を話も合わず鱗雲	金木屋母のひらがな徒然記	終活に家系図作る夜長かな	木屋の香ごと畳みし着物かな	二人居の黙も会話の夜長かな	夕風に乗りて木屋金の声	昨日会ひ今日又会ひに十三夜	金木屋たよりに友の家探す	雨雲の人を走らす金木屋	すべきことありて忘れて十三夜		晴れ晴れと藤井八冠菊日和	復員の人が待つ家の金木屋	ゆく秋や秩父路行けば兜太の碑		木屋や金より銀の似合ふ夫	野の道や揺れて気を引く吾亦紅	隣人と香り分け合ふ金木屋	すべりゆく木屋の香や線路跡	地球儀の亀裂おちこち穴惑い	白波の引いては寄する蕎麦の花	母の忌の咲く香散るる香きんもくせい	縄跳びで切り取れそうな秋の空	夕暮れの遊女の墓の金木屋	並べ干す海女着と産着金木屋	俳句といふ大きな宇宙虫しぐれ	命まだかすかに動き鴉の賛	妻にまた先に言はるる金木屋	黙といふ夫との会話金木屋	遠き風近き風あり芒原	舞殿に静のごとき秋の蝶	雨の日は雨の句の金木屋	足し算の余生が欲しい冬支度	見えぬ児のふれて笑顔や金木屋	母の文また読み返す十三夜	廃線の決まりし駅舎金木屋	白寿まで一日一事温め酒
中海岸	矢畑	浜之郷	甘沼	浜竹	香川	甘沼	下寺尾	今宿	松が丘	室田	矢畑	十間坂	茅ヶ崎	今宿	芹沢	松波	常磐町	香川	今宿	住所																				
小形好男	秋富ちづ子	粕谷説子	高橋美代子	藤田真知子	碓百合子	金丸知子	宇野弘子	瀧本万忘	三浦博美	坂西光漣	渡辺洋子	伊藤あつ子	能勢仲子	清水吞舟	西岡青波	坂口和代	塚本治彦	長島久江	日高朝代	氏名																				

席題

「木屋」 「当季雑詠」

特別賞			
清水会長	碓顧問	長島顧問	秋山顧問
句番			
65	107	96	98
母に歩を話も合わず鱗雲	地球儀の亀裂おちこち穴惑ひ	行く秋や言へば良かった大好きと	白寿まで一日一事温め酒
受賞者氏名			
粕谷 説子	渡辺 洋子	岩田 かつ子	杉山 徹